

気候変動対策に関連する公開質問状

1. 気候変動に対応するあなたの政策は(複数選択可)

- ① CO2 排出削減 (削減目標: 2030 年度までに CO2 を 50~60%削減する)
- ② プラスチックごみ削減 (削減目標: 日本は一人当たりの使い捨てプラスチックの廃棄量が米国に次いで 2 番目に多い国。デポジット制度の導入など、大量生産、大量消費の転換により、プラの生産量・使用量の根本的な削減を)
- ③ 消費電力量の削減 (削減目標:)
- ④ 再エネ電力へパワーシフト ③④へ共通のコメント エネルギー消費を4割減らし再生可能エネルギーで電力の 50%をまかなえば 60%の削減は可能。2050 年までに残されたガス火力なども再生可能エネルギーに置き換え、実質ゼロを実現します。即時原発ゼロ、石炭火力からの計画的撤退をすすめる。2030 年度に原発と石炭火力の発電量はゼロとします
- ⑤ 断熱対策のため住環境整備への補助(円、日本のエネルギーの3分の1は建築物で。建築物の省エネ対策基準を持ち一定規模の建物建設に脱炭素化対策を義務化)
- ⑥ 脱炭素にとりくんでいる企業への援助(円、中小企業に対する補助は必要。「省エネ投資」のための無利子・無担保・無保証の融資制度やグリーン減税の創設・自治体でも計画作成援助や資金補助も)
- ⑦ その他
- ⑧ 特になし

2. 1 で答えた政策を実現するため、具体的にどのような行動をしますか

電力会社と 200 程度の大規模事業所での脱炭素化が日本全体での CO₂削減をすすめるうえで決定的に重要。環境を守る規制を強化し、乱開発をなくす。日本の条件に合った再生可能エネルギーの技術開発を国が率先してすすめます

3. 気候変動対策は

- ① 区レベルでは特に必要ない
- ② 国や都の方針に従って進める
- ③ 区レベルでもできることを行う

4. 国や都と一緒にとりくむため、原発政策や温暖化対策などに関する提言・要求を行いますか

- ① 区政と連動するため積極的に行う
- ② 区民の声があれば行う
- ③ 必要を感じないので、行わない

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました

東京はくと医療生活協同組合 気候アクションプロジェクト(T-CAP)